

被災地はいま

原発を
どうする？

食の安全は？

種々の疑問を解明し、真実をあばきだし、
国民各層とともに未来への展望を語り合う場

第
16
回

東京科学シンポジウム

開催日：2011年12月3日(土)～4日(日)

会 場：立教大学(池袋キャンパス)

注目される被災地からの生の特別報告

“私たちは汚されたフクシマを、子や孫に
美しいフクシマにしてわたすまでたたかう”

福島県農民連事務局長 根本 敬 氏

疑問に答え未来を語る19件の多彩な分科会

分科会1：脱原発と温暖化抑止を両立させる
電力・エネルギーの供給・消費のあり方

分科会2：東日本大震災・原子力災害からの復旧・復興と財源問題

分科会3：3・11以降の首都圏防災の課題

分科会4：東日本大震災が問う日本の食と首都圏の役割

.....など

市民のみなさん
ご参加ください

参加費：2,000円(院生：1,000円、予稿集含む)

主 催：日本科学者会議東京支部

HP: <http://jsa-t.jp/> e-mail: 16th_kagaku@jsa.gr.jp